国別援助方針　別紙

対コソボ共和国　事業展開計画

2021年 4月 現在

基本方針（大目標）	持続可能な国造りに向けた経済・社会基盤の安定化

重点分野１（中目標）：環境インフラ整備・管理能力向上

開発課題１－１（小目標）：環境インフラ整備・管理能力向上

【現状と課題】
コソボでは、2008年の独立宣言後、経済振興、セルビアとの関係改善及び国際社会への参加などが主要な課題となる中、環境分野における取組はあまり重要視されてこなかった。しかし、EU加盟を目指すコソボにとって、環境改善は必須であり、近年、EU基準を達成するための法制度整備などが進められてきた。環境対策の強化に向け、環境インフラ整備、人材能力強化を更に進める必要がある。

【開発課題への対応方針】
環境対策に係る政策策定や法制度整備については、将来のEU加盟を見据えてEU基準に則って進められていることから、EUを含む欧州諸国のドナーが中心となって実施することが妥当である。我が国は、上記以外で比較優位のある分野、例えば、廃棄物管理や上下水道管理などの分野において、無償資金協力と技術協力を効果的に連携させながら、協力を実施していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2020年度以前	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	支援額（億円）	SDGs	備考
環境改善プログラム	我が国の有する優れた技術と知見を活かしつつ、コソボの持続可能な経済発展に必要な環境インフラ整備や人材育成を支援する。	大気汚染対策能力向上プロジェクト	技プロ	■	■					4.50	11	
		大気汚染対策能力向上プロジェクト フェーズ2	技プロ		▪	▪	▪	▪			11,13	
		経済社会開発計画（廃棄物管理分野）	無償	■						2.50	6	
		循環型社会に向けた廃棄物管理能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ		■	■	■	■			6,12,15	
		国家森林火災情報システム（NFFIS）とEco-DRRによる災害リスク削減のための能力強化プロジェクト	技プロ		■	■	■	■	■	2.60	13	

重点分野２（中目標）：人材育成・行政能力の向上と民間セクター開発

開発課題２－１（小目標）：行政能力・保健サービスの向上

【現状と課題】
コソボでは、紛争終結以降、国際人道支援により、各種インフラ整備が進められてきた。一方、それらインフラの維持管理・運営に関する行政機関の能力不足が緊急の課題となっている。特に、保健分野では、施設維持管理能力や供与物資配分能力の欠如がみられ、未だに国内の保健システムが十分に機能していない。

【開発課題への対応方針】
行政への信頼向上を通して経済・社会の安定化を図るために、我が国の知見を活かしつつ、社会インフラの運営管理に関する行政機関の人材育成やサービス向上に重点を置いた支援を実施していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2020年度以前	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	支援額（億円）	SDGs	備考
行政能力向上プログラム	我が国の知見を活かせる保健衛生などの分野において、主に技術協力を通じて、行政機関の人材育成やサービス向上を図る。	経済社会開発計画（医療分野）	無償	■						2.50	3	
		コソボ公共放送局能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ		■	■	■			2.40	9,16	
		デジタル地図縮尺調整技術向上	個別専門家	■	■						9,11	
		医療関連感染予防・管理	国別研修		■	■					3,17	

開発課題２－２（小目標）：民間セクター開発

【現状と課題】
コソボでは、国家経済の発展を下支えする民間セクター開発が喫緊の課題となっており、投資促進、観光振興、中小企業振興などの分野における人材育成が必要とされている。また、特に地方においては農業以外に主立った産業がなく、疲弊が著しいことから、地場産業振興が課題である。

【開発課題への対応方針】
我が国の知見や立場を活かしながら、民間セクターが発展しやすいビジネス環境の創設を目指す。投資環境整備や地域格差是正、雇用環境改善に貢献するような支援を実施していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2020年度以前	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	支援額（億円）	SDGs	備考
民間セクター開発・民生安定化プログラム	技術協力と草の根・人間の安全保障無償資金協力を組み合わせながら、民間セクター開発のための人材育成や地方の民生安定化に向けた支援を行う。	草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.40	9,16	

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「ＪＯＣＶ」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・ＪＩＣＡ以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本ＮＧＯ」（＝日本ＮＧＯ連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「――――」（＝実施期間）、破線「－－－」（＝実施予定期間）
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf